

- 第107号 -



しろくまだより

— 温暖化で絶滅の危機『しろくま』を救え in やつしろし —

編集/発行 2024.3.22 八代市環境課 TEL33-4114

《今回の記事》

- ・令和6年度住宅用太陽光発電システムおよび定置式リチウムイオン蓄電池に関する補助について
- ・猫はきちんと飼いましょう！
- ・ごみのポイ捨ても『不法投棄』です！
- ・令和6年度「狂犬病予防集合注射」のお知らせ

これまでの「しろくまだより」は市ホームページでご覧いただけます。



しろくまだより



サイト内検索に入力↑

二次元コード読み取り↑

令和6年度住宅用太陽光発電システムおよび定置式リチウムイオン蓄電池に関する補助について

●補助対象設備及び補助金額(予定)

- ・住宅用太陽光発電システム 上限10万円 (太陽電池モジュールの最大出力1kWあたり1.5万円)
- ・定置式リチウムイオン蓄電池 定額10万円
※市内業者と工事請負契約を締結した場合は、さらに定額2万円を上乗せ。

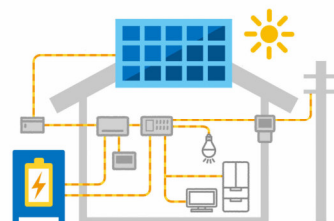
●補助対象者

- ・市内に居住または居住予定の方で、自ら居住する住宅に新規に設置するもの
- ・世帯の全員に市税等の滞納がないことなど

●注意事項

- ・受付開始は4月1日からです。
- ・市内業者とは、市内に本社や支店、営業所等がある事業者のことです。
- ・工事着工前の申請が必要です。着工後に申請されても補助対象となりませんのでご注意ください。

※詳細は、市ホームページをご覧ください。環境課までお問い合わせください。



猫はきちんと飼いましょう！

◆猫は室内で飼いましょう

フンや尿、イタズラなどによる、ご近所への迷惑がなくなります。

◆自分の飼っている猫以外にエサを与えないようにしましょう

自分の飼い猫以外の猫にエサを与えることは、その猫の飼い主になるということです。
その猫の命や行動のすべてに責任を持ち、飼い主として最期まで飼いましょう。

◆避妊や去勢をしましょう

猫は年に2～4回出産し、1回の出産で4～8頭の子猫を産みます。
避妊や去勢を行うことで、病気の予防や発情期の行動を抑える効果もあります。

野良猫との向き合い方について、右の二次元コードから確認できます⇒



【お問合せ先】 環境課 TEL 33-4114

ごみのポイ捨ても『不法投棄』です！

空き地へのごみのポイ捨てによる苦情が寄せられています。廃棄物の処理及び清掃に関する法律第16条には「何人も、みだりに廃棄物を捨ててはならない」と規定されており、違反した場合は5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金（法人に対しては3億円以下の罰金）またはその両方が科せられます。

また、空き地においては所有者が責任をもって管理するよう八代市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第8条に規定されております。

空き地を管理する人、建物等を管理する人ともに、次のことに注意してください。



空き地等の所有者、管理者

●囲いの設置、草払いなどを行い不法投棄を誘発させないようにしましょう。

※日ごろから定期的に見回するなど清潔の保持に努めてください。市では民有地における不法投棄物の撤去などは行っていません。

※自分の土地へのポイ捨てや、ごみを埋める行為（堆肥化は除く）も不法投棄になる場合があります。

建物等の所有者、管理者

●ご自分の所有地や建物から風で物が飛ばされないよう飛散防止の対策を図り、ごみを溜めないよう計画的に排出しましょう。

【お問合せ先】 循環社会推進課 TEL 34-1997

令和6年度「狂犬病予防集合注射」のお知らせ

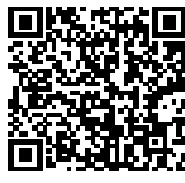
飼い犬には、生涯1回の登録と年1回の狂犬病予防注射が義務づけられています。

令和6年度の狂犬病予防集合注射は、坂本・千丁・鏡・東陽・泉町については例年どおり4月に、旧市内については例年とは異なり5月に実施します。この機会を利用され、愛犬への狂犬病予防注射をお願いします。

集合注射日程及び犬の登録、狂犬病予防注射（動物病院での個別注射）、各種届出については、下の二次元コードから確認できますので、ぜひご利用ください。



▲集合注射日程表



▲犬の登録
狂犬病予防注射
（動物病院での個別注射）
各種届出について

【お問合せ先／担当窓口】

環境課（TEL 33-4114）

坂本支所 地域振興課（TEL 45-2212）

千丁支所 地域振興課（TEL 46-1101）

鏡支所 地域振興課（TEL 52-1115）

東陽支所 地域振興課（TEL 65-2111）

泉支所 地域振興課（TEL 67-2111）

“広げよう！エコ8（エイト）行動”

＜環境行動5＞“節電”に取り組みます。

☐ 不要な電灯を消す、テレビをつけっぱなしにしないなど、照明器具や家電製品の無駄な使用を控えましょう。

☐ 家電製品を買い換える際には省エネ製品を選びましょう。